

BOSS TONE STUDIO for ME-80 の使いかた

BOSS TONE STUDIO for ME-80 (以下、TONE STUDIO) の使いかたを紹介します。

TONE STUDIO を使う準備

TONE STUDIO のことば

ライブラリー

TONE STUDIO 内の記憶エリアです。
BOSS TONE CENTRAL (P.12) からダウンロードしたメモリー (ライブセット) や、ME-80 のメモリーをバックアップすると、ライブラリーに保存されます。

ライブセット

いくつかのメモリーをグループにしたものです。
BOSS TONE CENTRAL からダウンロードしたメモリーや、TONE STUDIO でバックアップしたメモリーは、ライブセットとしてまとめられ、TONE STUDIO 内のライブラリーに保存されます。
好みのメモリーを集め、オリジナルのライブセットを作ることができます。

USB ドライバーをインストールする

TONE STUDIO を使う前に、お使いの製品に応じた USB ドライバーをパソコンにインストールします。

1. 製品サポート・ページから ME-80 Driver をダウンロードします。

最新の USB ドライバーは、以下の URL にアクセスし、お使いの機種にあったドライバーをダウンロードします。

<http://jp.boss.info/support/>

2. ダウンロードした ME-80 Driver をダブルクリックします。

インストールが始まります。
インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
「インストールを完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。
お使いのパソコンに ME-80 Driver がインストールされます。

TONE STUDIO をインストールする

メモ

TONE STUDIO をインストールする前に、「USB ドライバーをインストールする」(P.1) に従って、お使いのパソコンに USB ドライバーがインストールされている必要があります。

TONE STUDIO v1.0.0 ~ 1.0.2 をお使いのお客さま

TONE STUDIO をアップデートするときの注意とバージョンを確認する方法

お使いの TONE STUDIO のバージョンが「1.0.0」～「1.0.2」の場合、新バージョンへアップデートする前に、アンインストールする必要があります。

お使いの TONE STUDIO のバージョンは以下の手順で確認します。

1. TONE STUDIO を起動し (P.2)、画面の右下にある [SYSTEM] ボタンをクリックします。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. [バージョン] をクリックします。

お使いの TONE STUDIO のバージョンが表示されます。

TONE STUDIO をアンインストールする

メモ

TONE STUDIO をアンインストールしても、ライブラリーに保存されたライブセットは残ります。

Windows をお使いの場合

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックします。

2. [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]、または [コントロールパネル] - [プログラムと機能] の順にクリックします。

3. 一覧から [BOSS TONE STUDIO for ME-80] をクリックし、[アンインストール] ボタンをクリックします。

Mac OS をお使いの場合

1. Finder (ファインダー) で、「アプリケーション」フォルダをクリックします。

2. [BOSS TONE STUDIO for ME-80] をゴミ箱へドラッグ & ドロップします。

Windows をお使いの場合

1. 製品サポート・ページから「BOSS TONE STUDIO for ME-80」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。
3. 解凍してできたフォルダー内の「BOSS TONE STUDIO for ME-80.exe」をダブルクリックします。
インストールが始まります。
インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
「インストールを完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

Mac OS をお使いの場合

1. 製品サポート・ページから「BOSS TONE STUDIO for ME-80」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。
3. 解凍してできたファイルをダブルクリックします。
「BOSS TONE STUDIO for ME-80」アイコンと、「Applications フォルダ」アイコンが表示されます。
4. 「BOSS TONE STUDIO for ME-80」アイコンを「Applications フォルダ」アイコンにドラッグ & ドロップします。
アプリケーションに BOSS TONE STUDIO for ME-80 が追加されます。
手順 3 で開いたフォルダーは閉じてください。

TONE STUDIO を起動する

メモ

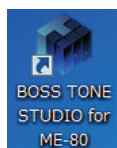
ここでの操作は TONE STUDIO の Windows 版を使った例を説明しています。

1. ME-80 をパソコンと USB ケーブルで接続し、ME-80 の電源を入れます。

メモ

ME-80 とパソコンを USB ケーブルで接続しなくても、ライブセットの編集と、BOSS TONE CENTRAL からのライブセットのダウンロードはできます。
ただし、メモリーをエディットした結果を保存することはできません。保存にはパソコンとの接続が必要です。

2. TONE STUDIO のショートカット・アイコンをダブルクリックします。



初めての起動時には、「接続するデバイスを選択してください。」ダイアログが表示されます。

メモ

2 回目以降の起動時は、デバイスは自動で選ばれます。手順 4 に進みます。

Mac OS をお使いの場合

Finder から、アプリケーション・フォルダ内の「BOSS TONE STUDIO for ME-80」をダブルクリックします。

3. 「ME-80」を選び、[OK] ボタンをクリックします。



TONE STUDIO が起動します。

メモ

- ME-80 からデータを読み込むため、TONE STUDIO が使えるようになるまで時間がかかることがあります。
- 「ME-80 DAW CTRL」は TONE STUDIO の Windows 版のみ表示されます。
- 「ME-80 DAW CTRL」は、DAW（音楽制作アプリ）から ME-80 をコントロールするためのものです。誤って選んでしまった場合は、TONE STUDIO の起動後、TONE STUDIO 画面の右下にある [SYSTEM] - [デバイス設定] から変更することができます。

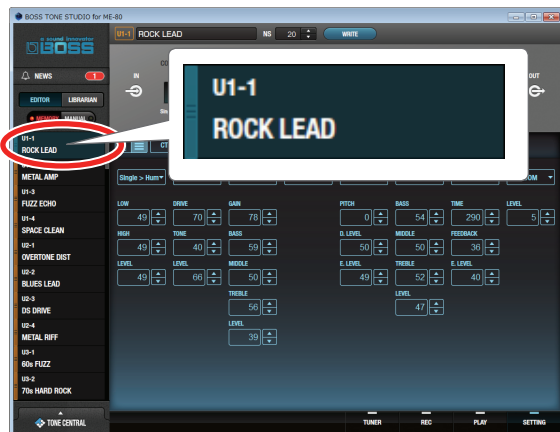
メモリーをエディットする

ユーザー・メモリー「U1-1 ROCK LEAD」をエディットする例を説明します。

1. TONE STUDIO 画面の左上にある [EDITOR] ボタンをクリックします。



2. エディットしたいメモリーをクリックします。ここでは、「U1-1 ROCK LEAD」をクリックします。



3. エフェクト・チェーン画面 (画面上部) のエフェクトの中から、エディットしたいエフェクトのアイコンをクリックします。ここでは、[PREAMP] アイコンをクリックします。

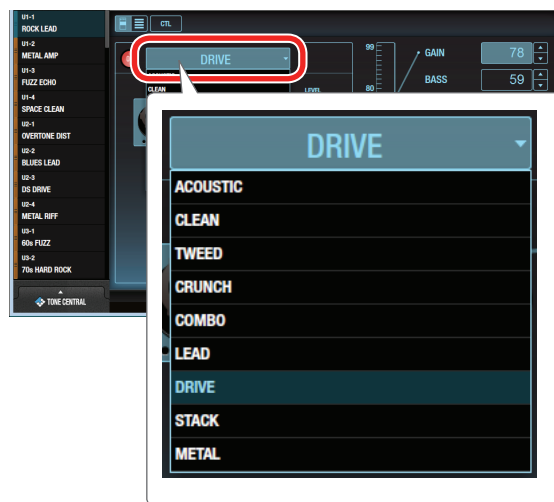
クリックしたエフェクトのアイコンが青く点灯し、エフェクトの設定が表示されます。



4. エフェクトをエディットします。

メモ

プリアンプの種類を変更したいときは、アンプ名の右側にある [▼] ボタンをクリックして選びます。



5. 他のエフェクトもエディットするには、手順 3～4 を繰り返します。

エディットしたエフェクトをME-80に保存する (WRITE)

エディットしたエフェクトを ME-80 に保存します。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [WRITE] ボタンをクリックします。



「上書きするパッチを指定してください。」ダイアログが表示されます。

2. 保存先のユーザー・メモリーの番号を選びます。
ここでは、「U1-2」を選びます。



ご注意！

保存すると、選んだ番号のユーザー・メモリーは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・メモリーを選んでください。

3. ユーザー・メモリー名を変更するには、ユーザー・メモリー名の欄をクリックします。カーソルが表示されるので、パソコンのキーボードでユーザー・メモリー名を入力します。



4. [OK] ボタンをクリックします。

指定したユーザー・メモリーにエディットしたエフェクトが保存されます。



エフェクトの設定を一覧する

一覧表示ボタンをクリックすると、エフェクトの設定を一覧で表示することができます。

ここで設定をエディットすることもできます。



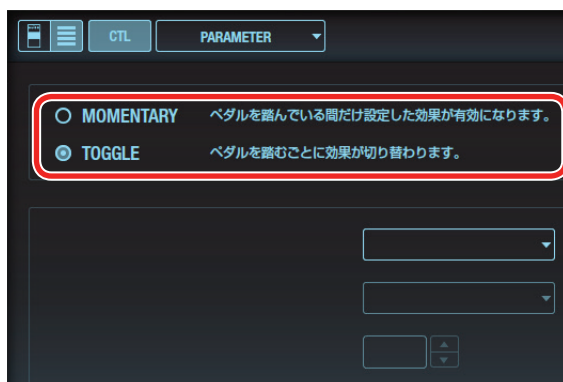
コントローラーの設定をする

【CTL】 ボタンをクリックすると、ME-80 に接続したフットスイッチの設定をすることができます。

1. TONE STUDIO 画面の【CTL】 ボタンをクリックします。



2. ME-80 の【CTL】 ペダルを押したときの動きを選びます。



設定	説明
MOMENTARY	ペダルを踏んでいる間だけ設定した効果が有効になります。
TOGGLE	ペダルを踏むごとに効果が切り替わります。

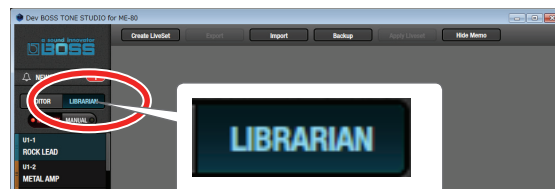
3. 機能を割り当てます。



ME-80 の全ユーザー・メモリーを TONE STUDIO に保存する (Backup)

ME-80 の全ユーザー・メモリーを TONE STUDIO のライブラリーに保存 (バックアップ) します。全ユーザー・メモリーはライブセットとして保存されます。

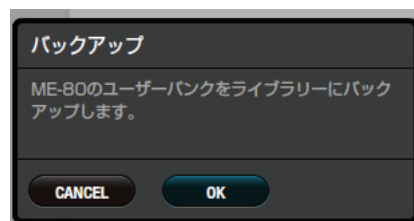
1. TONE STUDIO 画面の【LIBRARIAN】 ボタンをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある【Backup】 ボタンをクリックします。



「バックアップ」ダイアログが表示されます。

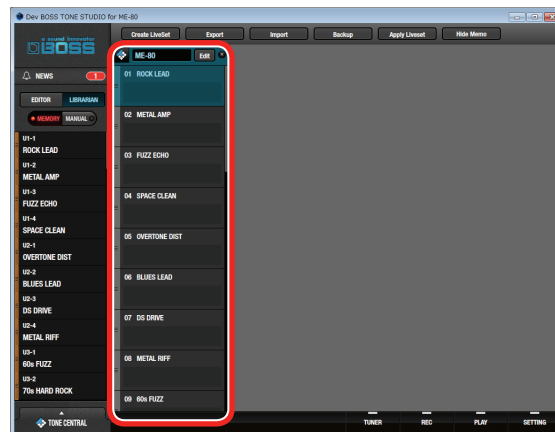


3. 【OK】 ボタンをクリックします。

「バックアップが完了しました。」と表示されます。

4. 【OK】 ボタンをクリックします。

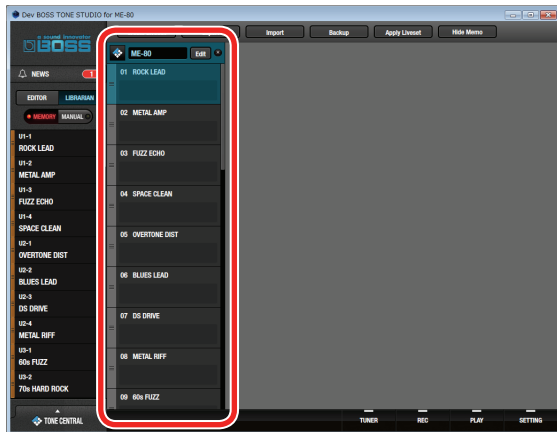
TONE STUDIO のライブラリーに、ユーザー・メモリーがライブセット形式で保存されます。



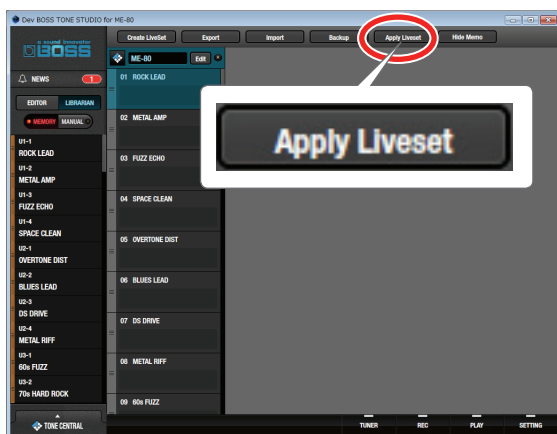
バックアップしたライブセットを ME-80 に書き戻す

バックアップで保存したライブセットを ME-80 のユーザー・メモリーに書き戻します。

1. 書き戻したいライブセットをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある [Apply Liveset] ボタンをクリックします。



「ライブセットの適用」ダイアログが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックします。

選んだライブセットが ME-80 に書き戻されます。

メモリーを ME-80 に書き戻す

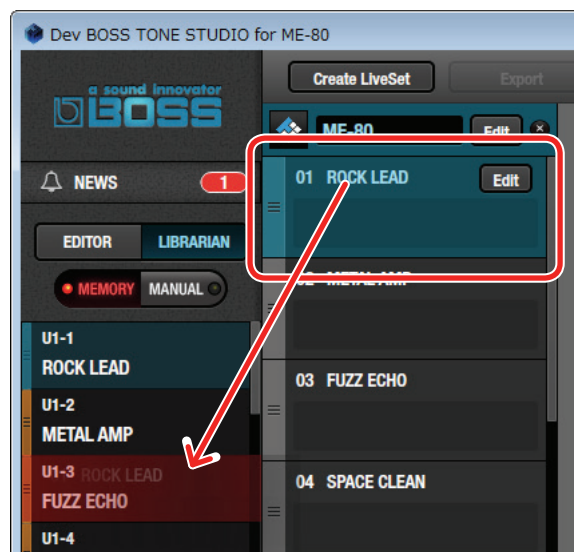
バックアップで保存したライブセットの中から、メモリーを選んで ME-80 に書き戻します。

1. 書き戻したいメモリーを、希望する ME-80 のユーザー・メモリー番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意！

メモリーをドロップすると、選んだ番号のユーザー・メモリーは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・メモリーを選んでください。

ここでは「01 ME-80 ROCK LEAD」というメモリーを「U1-3 FUZZ ECHO」にドラッグ&ドロップしています。



ME-80 でユーザー・メモリー「U1-3」を選ぶと、書き戻したメモリーが使えます。

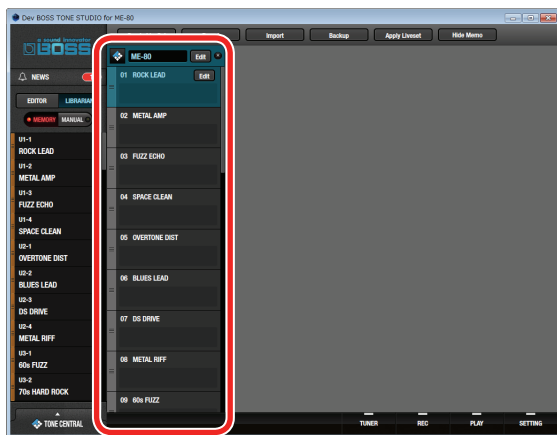
メモ

「複数のメモリーを選ぶ」(P.9)に従って、複数のメモリーを選ぶこともできます。

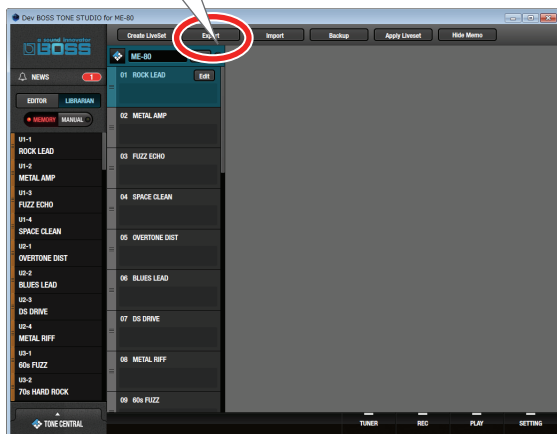
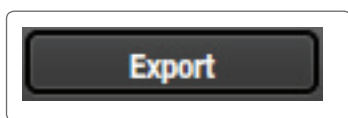
ライブセットをパソコンに保存する (Export)

バックアップしたライブセットをパソコンに書き出すことができます (エクスポート)。

1. パソコンに書き出したいライブセットをクリックします。



2. TONE STUDIO 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。



「ライブセットのエクスポート」ダイアログが表示されます。

メモ

ファイル名はライブセットの名前が入りますが、好きなファイル名に変更することもできます。

3. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。

「エクスポートが完了しました。」メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

保存先にライブセット・ファイル (ライブセットの名前.ts1) が作成されます。

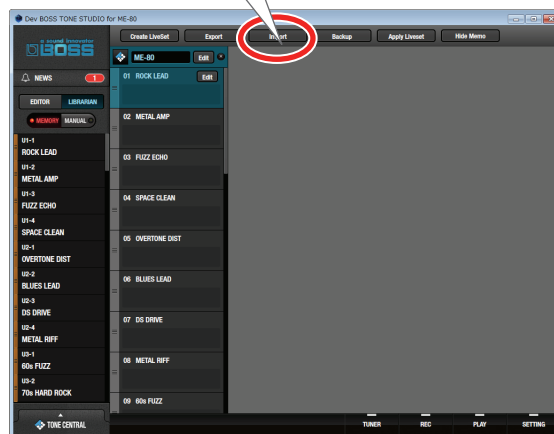
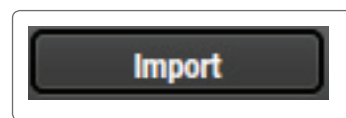
エクスポートしたライブセットの使いかたの例

- USB メモリーなどを使って、別のパソコンにライブセットをコピーする
- メールなどを使って、他の ME-80 ユーザーにライブセットを送る

パソコンに保存したライブセットをライブラリーに取り込む (Import)

パソコンに書き出したライブセットを TONE STUDIO のライブラリーに取り込むことができます (インポート)。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。



「ライブセットのインポート」ダイアログが表示されます。

メモ

ライブセットの名前は自動的にファイル名から取り込まれます。このときファイル名に 2 バイト文字が含まれている場合は、ライブセットの名前に反映されません。

2. ライブラリーに取り込みたいライブセット・ファイル (拡張子:.ts1) を選び、[開く] ボタンをクリックします。

Import が完了すると、「インポートが完了しました。」と表示されます。

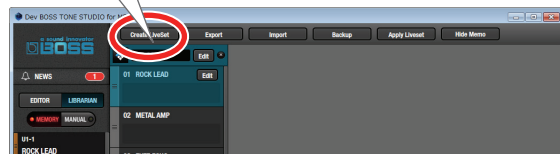
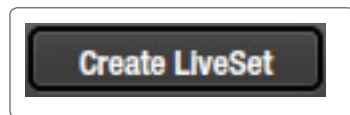
3. [OK] ボタンをクリックします。

TONE STUDIO のライブラリーに、ライブセットが取り込まれます。

オリジナルのライブセットを作る

好みのメモリーだけを集めた、オリジナル・ライブセットを作ることができます。

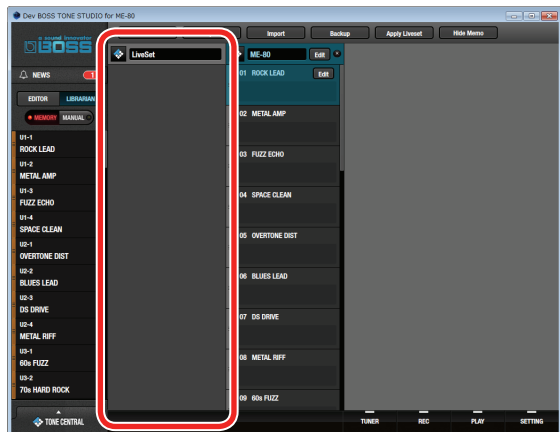
1. TONE STUDIO 画面の上部にある【Create LiveSet】ボタンをクリックします。



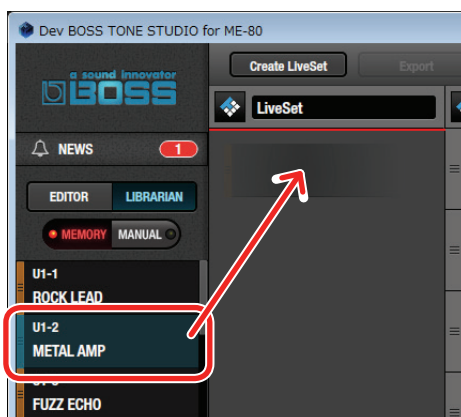
「新しいライブセットを作成しました。」メッセージが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

メモリーが登録されていない空のライブセットが作られます。



3. TONE STUDIO 画面の左のメモリー・リストの中から、好みのメモリーを新しいライブセットにドラッグ&ドロップします。



選んだメモリーが、新しいライブセットに登録されます。

メモ

- ひとつのライブセットに登録できるメモリーの数の上限は400です。メモリーを挿入することで400メモリーを超えた場合、400を超えた分のメモリーは挿入されません(メッセージが表示されます)。
- 別のライブセット内に登録されているメモリーを、新しいライブセットへドラッグ&ドロップすることもできます。

- ライブセット内のメモリーは、ドラッグ&ドロップで並び替えをすることができます。

メモリーをコピーする

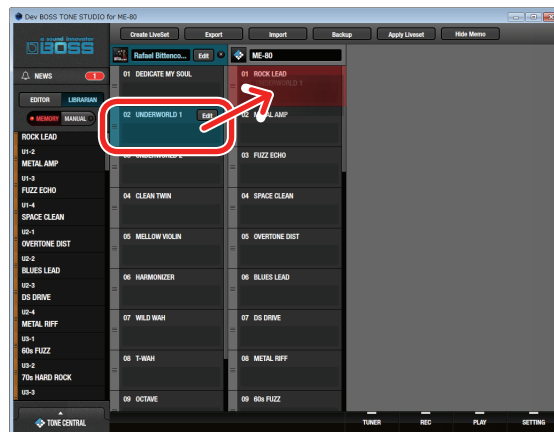
メモリーを別のライブセットや ME-80 のメモリーにコピーすることができます。

1. コピーしたいメモリーを選びます。

メモ

「複数のメモリーを選ぶ」(P.9)に従って、複数のメモリーを選んでコピーすることもできます。

2. 選んだメモリーを、希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。



ご注意!

メモリーをドロップすると、赤色で選んだエリアのメモリーは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいメモリーを選んでください。

メモ

- 連続していないメモリーを選んでコピーした場合は、連続したメモリーとしてコピーされます。



- ひとつのライブセットに登録できるメモリーの数の上限は400です。メモリーを挿入することで400メモリーを超えた場合、400を超えた分のメモリーは挿入されません(メッセージが表示されます)。
- ライブセット内に登録されているメモリーを、自身のライブセットや新しいライブセットへコピーすることもできます。自身のライブセットにメモリーをコピーをするときは、以下のよう操作します。

お使いのパソコン	操作
Windows	パソコンの [Ctrl] キーを押しながら、メモリーをドラッグ&ドロップします。
Mac OS	パソコンの [option] キーを押しながら、メモリーをドラッグ&ドロップします。

複数のメモリーを選ぶ

パソコンのマウスとキーボードを組み合わせると、メモリーをまとめて選ぶことができます。

メモリーを範囲で選ぶ

連続した範囲でメモリーを選ぶことができます。

1. 選みたいメモリーの先頭をクリックします。
2. パソコンのキーボードの [Shift] キーを押しながら、選みたいメモリーの末端をクリックします。
クリックしたメモリーの先頭から末端までが選ばれます。

メモリーを個別に選ぶ

クリックしたメモリーだけを個別に選ぶことができます。

1. パソコンのキーボードの [Ctrl] キーを押しながら、選みたいメモリーをクリックします。
クリックしたメモリーが選ばれます。選ばれたメモリーは、ハイライトで表示されます。

Mac OS をお使いの場合

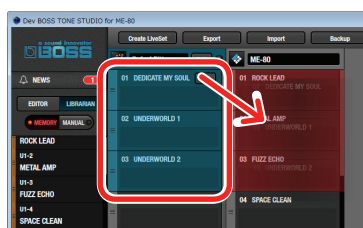
パソコンのキーボードの [command] キーを押しながら、選みたいメモリーをクリックします。

2. さらに選みたいメモリーがある場合は、手順 1 を繰り返します。
[Ctrl] キーを押しながら、選ばれたメモリー (ハイライトで表示されたメモリー) を再度クリックすると、解除されます (ハイライトが消えます)。

複数のメモリーを選んでコピーするときの操作の違いについて

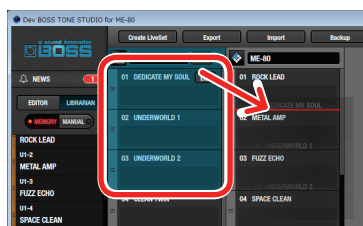
選んだメモリーをドラッグ & ドロップするとき、マウスの操作によってコピーの結果に違いがあります。

コピー先に赤色のエリアを表示させてドラッグ & ドロップする (上書きコピー)



赤色で表示されたエリアにメモリーがコピーされます。

コピー先のメモリーとメモリーの間にドラッグ & ドロップする (挿入)



赤線の位置にメモリーが挿入されます。以降のメモリーは後ろにずれます。

メモリーを移動する

メモリーを別のライブセットや ME-80 のメモリーに移動することができます。メモリーを移動すると元の場所からはなくなります。

1. 移動したいメモリーを選びます。

メモ

「複数のメモリーを選ぶ」(P.9) に従って、複数のメモリーを選んで移動することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Alt] キーを押しながら、選んだメモリーを希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

Mac OS をお使いの場合

パソコンのキーボードの [command] キーを押しながら、ドラッグ & ドロップします。

メモリーを削除する

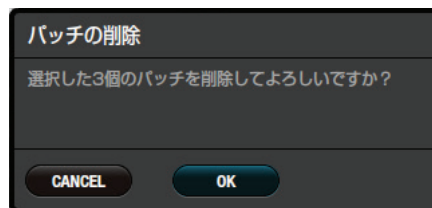
不要なメモリーを削除します。

1. 削除したいメモリーを選びます。

メモ

「複数のメモリーを選ぶ」(P.9) に従って、複数のメモリーを選んで削除することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Delete] キーを押します。
「Delete patch」メッセージが表示されます。



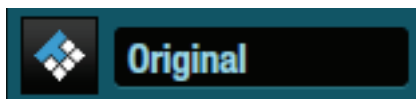
ご注意!

削除したメモリーは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

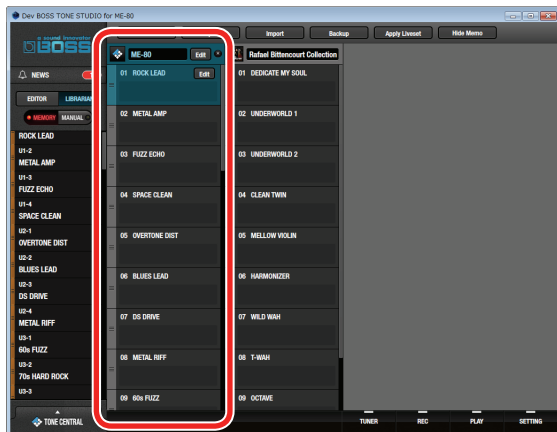
3. [OK] ボタンをクリックします。
選んだメモリーが削除されます。

ライブセットをエディットする

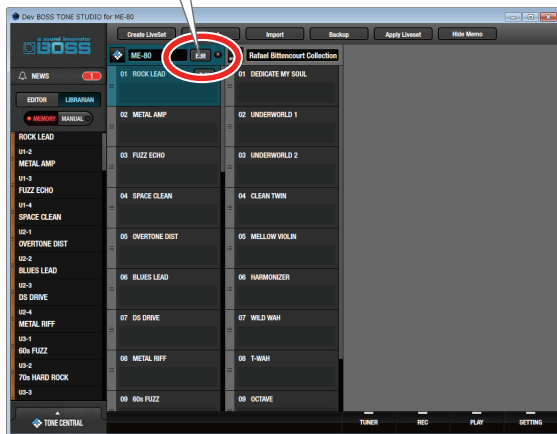
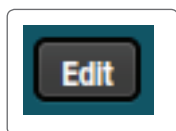
ライブセットに名前を付けたり、アイコンによる目印を付けたりすることが出来ます。



1. エディットしたいライブセットをクリックします。

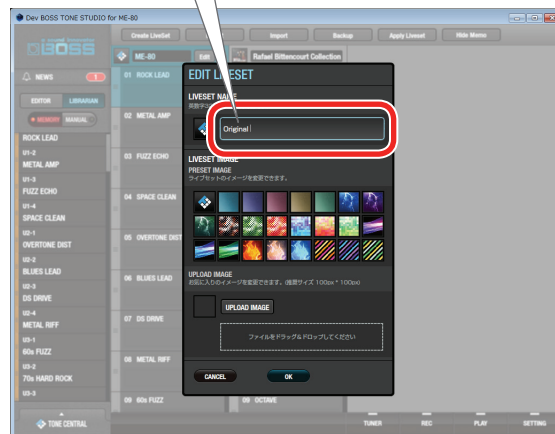
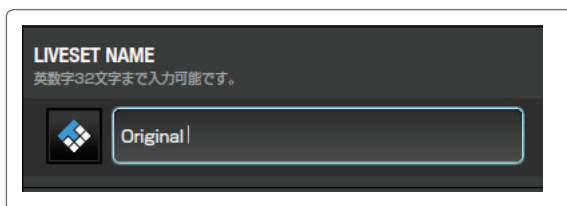


2. ライブセット名の右の [EDIT] ボタンをクリックします。

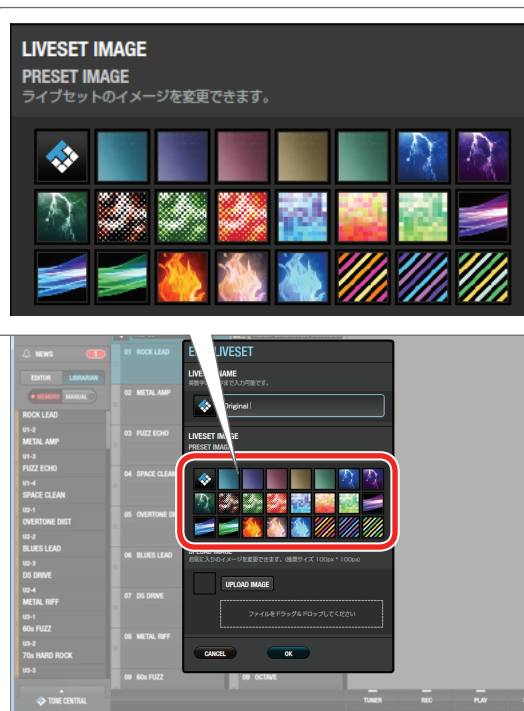


「EDIT LIVESET」ダイアログが表示されます。

3. ライブセット名をクリックし、パソコンのキーボードでライブセット名を入力します。



4. PRESET IMAGE の中からアイコンを選びます。



5. [OK] ボタンをクリックします。

オリジナルのイラストをアイコンにする

好きなイラストを準備し、ライブセットのアイコンに割り当てることができます。



[UPLOAD IMAGE] ボタンをクリックしてイラスト・ファイルを選択するか、イラスト・ファイルを図の枠線内にドラッグ & ドロップします。

メモ

アイコンに使用できるイラストは、JPG 形式、GIF 形式、PNG 形式です。イラストの推奨サイズは 100 × 100 ピクセルですが、サイズが異なっても自動的に調整されます。

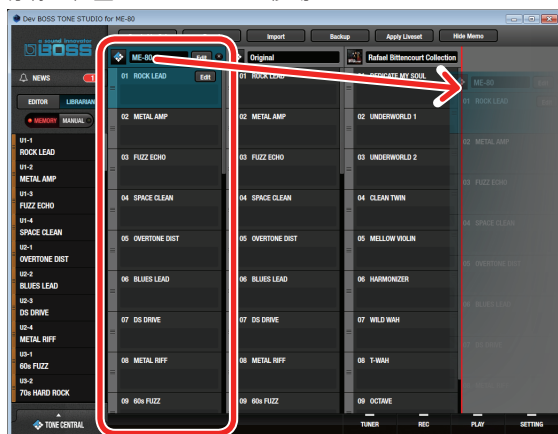


ライブセットを並び替える

表示するライブセットを並び替えることができます。

1. 並び替えたいライブセットをクリックします。
2. ライブセット名をドラッグ & ドロップします。

赤線の位置にライブセットが移動します。



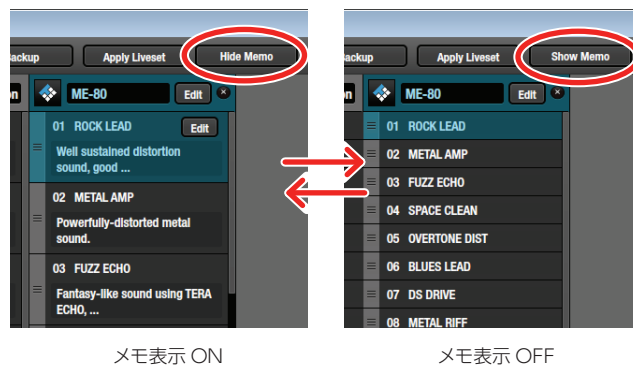
ライブセットの表示を切り替える

メモリーが持つメモ情報の表示をオン/オフすることができます。メモ情報の表示をオフにすると、一画面で多くのメモリーを表示することができます。

1. [Hide Memo] ボタンをクリックすると、メモリーのメモ情報が消えます。

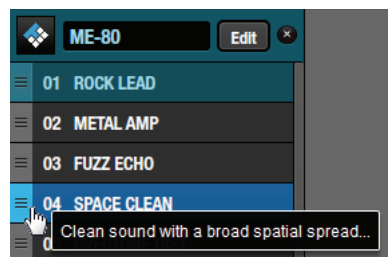
一画面で表示できるメモリーの数が増えます。

このとき [Show Memo] ボタンをクリックすると、再度メモリーのメモ情報が表示されます。



メモ

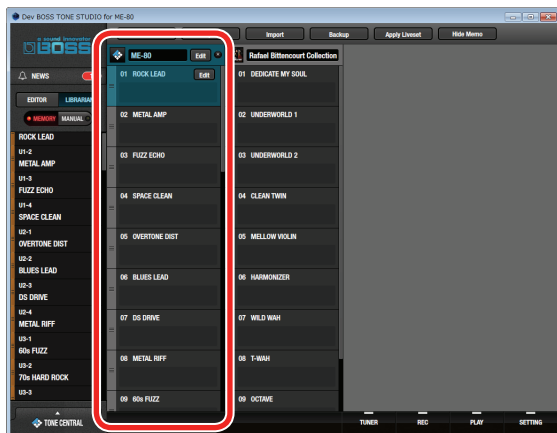
メモ表示が OFF でもメモリー名にマウス・カーソルを合わせるとメモをポップアップで表示することができます。



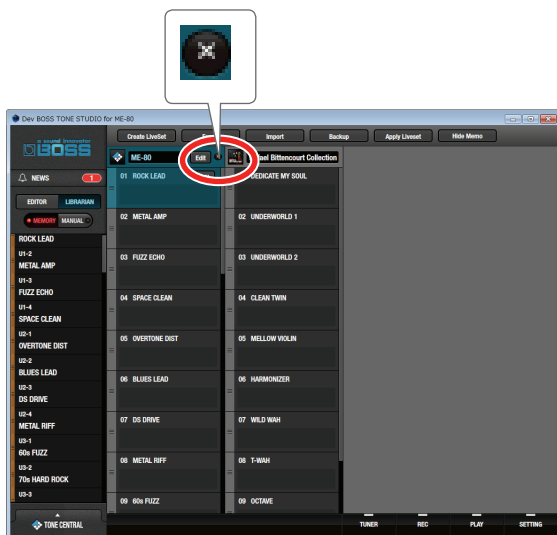
ライブセットを削除する

不要になったライブセットを削除することができます。

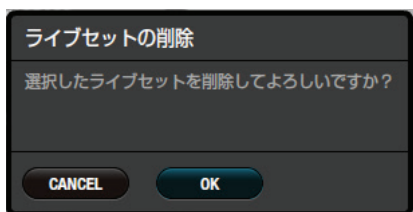
1. 削除したいライブセットをクリックします。



2. [X] ボタンをクリックします。



「ライブセットの削除」ダイアログが表示されます。



ご注意！

削除したライブセットは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

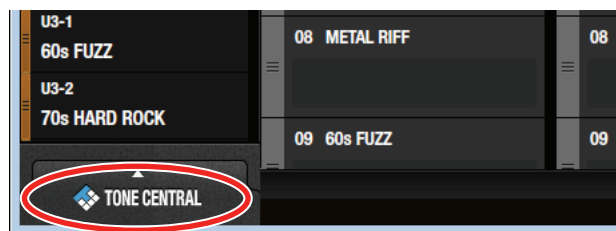
選んだライブセットが、削除されます。

BOSS TONE CENTRAL のライブラリーを使う

BOSS TONE CENTRAL からライブセットをダウンロードする

BOSS TONE CENTRAL で公開されているライブセットをダウンロードして、ME-80 で使うことができます。

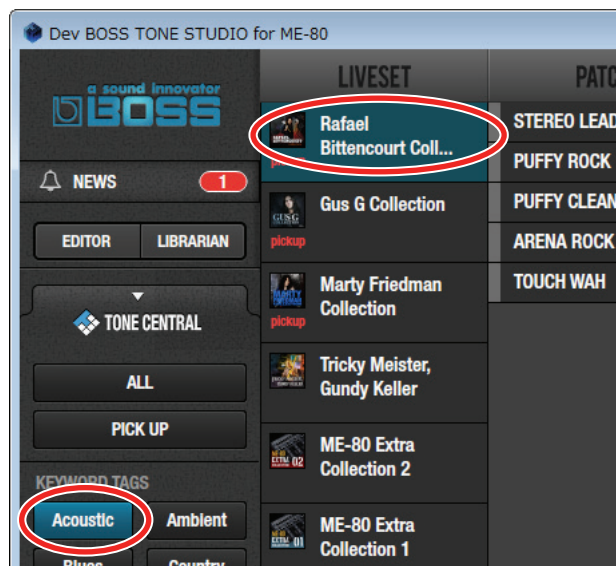
1. TONE STUDIO 画面左下にある [TONE CENTRAL] ボタンをクリックします。



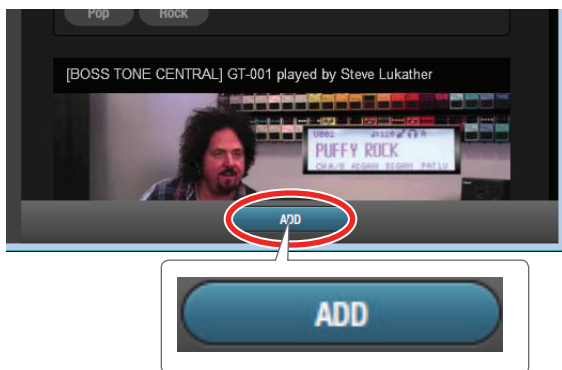
BOSS TONE CENTRAL で公開されているメモリーの一覧、メモリーの解説が表示されます。

2. KEYWORD TAGS の中からお好みのジャンルを選び、LIVESET (ライブセット) の中からダウンロードしたいライブセットを選びます。

ここでは、「Rafael Bittencourt Collection」を選びます。



3. 画面下部の [ライブラリーに追加] ボタンをクリックします。

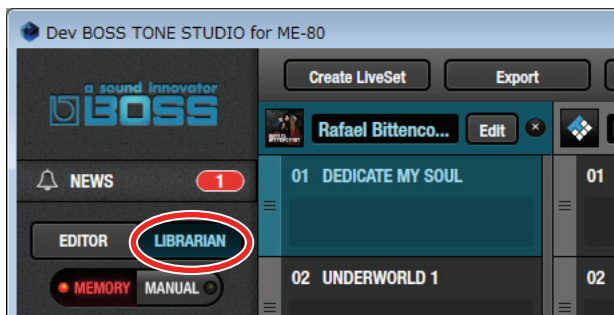


ライブセットがダウンロードされ、「ライブラリーに追加しました。」と表示されます。

メモ

BOSS TONE STUDIOからのダウンロードは、ライブセット単位です。メモリー単位でのダウンロードや、ライブラリーへの追加はできません。

4. 再度 [LIBRARIAN] ボタンをクリックします。



ダウンロードしたライブセットが表示されます。

5. ダウンロードしたライブセットの中のメモリーを、希望する ME-80 のユーザー・メモリー番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意！

メモリーをドロップすると、選んだ番号のユーザー・メモリーは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・メモリーを選んでください。

ここでは「01 DEDICATE MY SOUL」というメモリーを「U1-3 FUZZ ECHO」にドラッグ&ドロップしています。



ME-80 でユーザー・メモリー「U1-3」を選ぶと、追加したメモリーが使えます。

演奏を録音しエフェクトをかけて試聴する

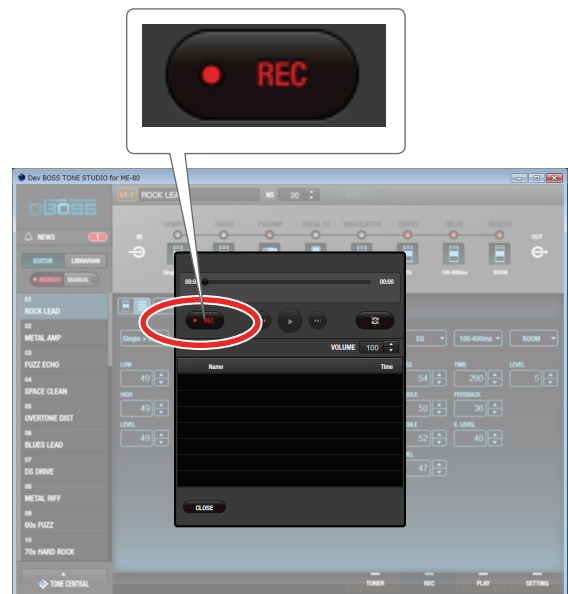
ドライ音（生音）で演奏を録音したあと、再生音にエフェクトをかけることができます。演奏した音はループ再生ができるので、エフェクトの調整をしながら試聴をすることができます。

1. TONE STUDIO 画面の右下にある [REC] ボタンをクリックします。



REC 画面が表示されます。

2. [● REC] ボタンをクリックします。



録音が始まります。演奏はドライ音で録音されます。

3. 演奏を終えたら、[■ STOP] ボタンをクリックします。

録音が終了します。録音した演奏がリストに表示されます。このとき日時がデータ名として自動的に設定されます。

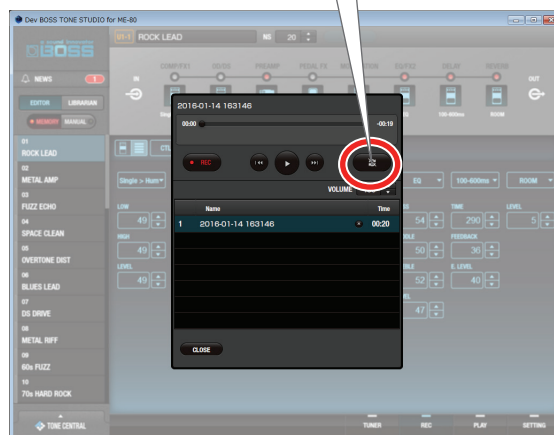
メモ

データ名をクリックすると、データ名を変更することができます。
パソコンのキーボードでデータ名を入力します。

4. ループ・ボタンをクリックします。

ループの方法が選べるようになります。

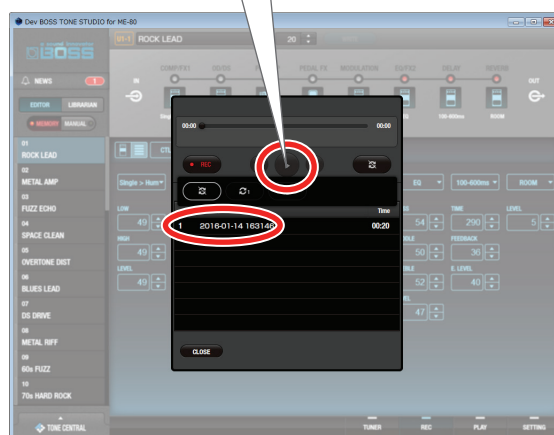
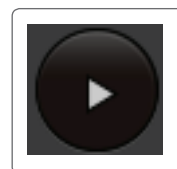
5. ループ・アイコンをクリックしてループの方法を選びます。



選べるループの方法は「オーディオ・データをループ再生する」(P.16)をご覧ください。

6. リストの中から試聴にしたい演奏をクリックし、[▶] ボタンをクリックします。

演奏が再生されます。



7. [CLOSE] ボタンをクリックします。

元の画面に戻りますが、再生は継続します。

8. エフェクトの設定をします。

設定したエフェクトが再生音にかかります。

試聴を止めるには

1. TONE STUDIO 画面の右下にある [REC] ボタンをクリックします。
REC 画面が表示されます。
2. REC 画面で [H] ボタンをクリックします。
演奏が止まります。必要に応じてループ再生の設定を解除します。

オーディオ・プレーヤーを使う

TONE STUDIO に内蔵のオーディオ・プレーヤーでオーディオ・データを聞くことができます。
バックアップなどのオーディオ・データを用意すれば、ME-80 の音とミックスして演奏を楽しむことができます。

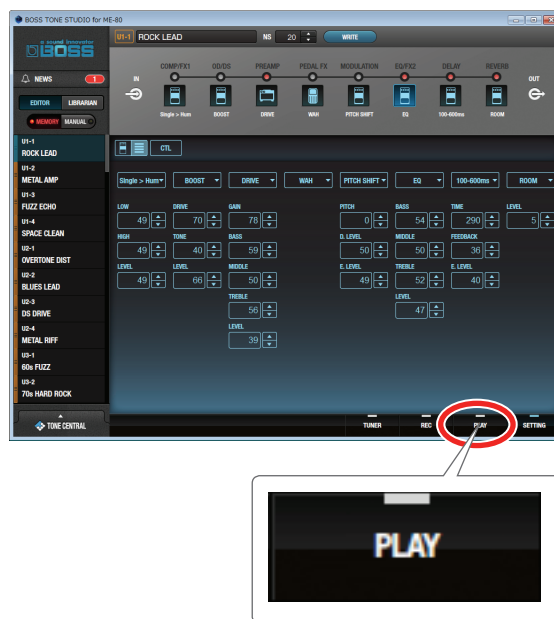
オーディオ・データを再生する

TONE STUDIO で再生できるオーディオ・データの仕様は以下のとおりです。

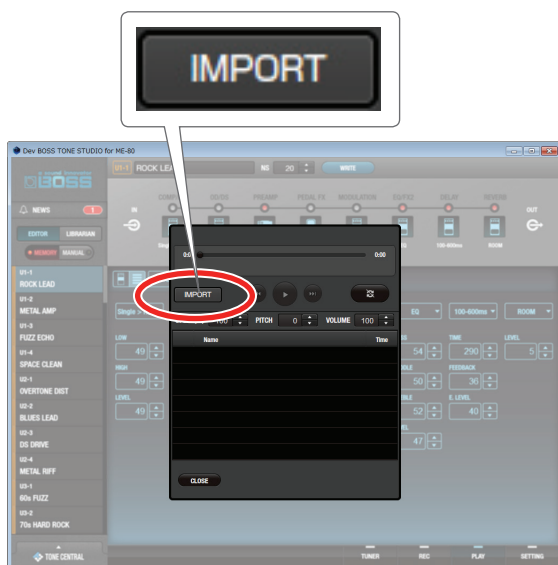
- サンプル周波数: 44.1kHz
- 量子化ビット数: 16 ビット (リニア)
- チャンネル数: 2 チャンネル (ステレオ)
- 形式: WAV

オーディオ・データを取り込んで再生する

1. あらかじめ、再生したいオーディオ・データをパソコンに用意しておきます。
2. TONE STUDIO 画面の右下にある [PLAY] ボタンをクリックします。



3. [IMPORT] ボタンをクリックします。



「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。

4. 再生したいオーディオ・ファイルを選び、[開く] ボタンをクリックします。

オーディオ・ファイルがオーディオ・プレーヤーに取り込まれ、リストに表示されます。

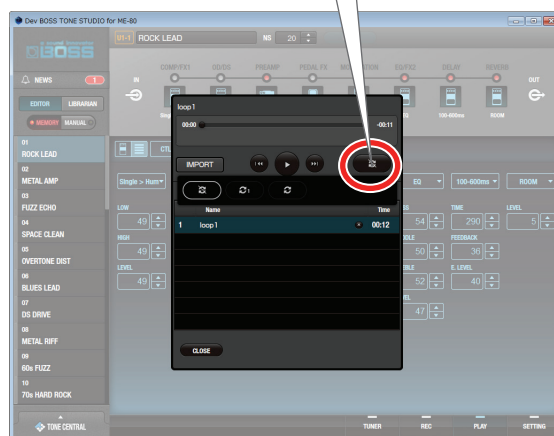
5. リストの中から取り込んだオーディオ・ファイルを選び、[▶] ボタンをクリックします。

オーディオ・ファイルが再生されます。



オーディオ・データをループ再生する

1. 「オーディオ・データを取り込んで再生する」(P.15) の手順 1 ～ 4 に従って、再生したいオーディオ・ファイルを準備します。
2. ループ・ボタンをクリックします。
ループの方法が選べるようになります。
3. ループ・アイコンをクリックしてループの方法を選びます。



ループ・アイコン	ループの方法
	ループしません（最後まで再生したら止まります）。
	選んだ曲をループして再生します（選んだ曲を何度も繰り返して再生します）。
	リストの曲を順番に再生し続けます（リストの最後の曲を再生し終わったら、先頭の曲に戻って再生を続けます）。

4. もう一度ループ・ボタンをクリックします。

元の表示に戻ります。

メモ

元の表示に戻しても、選んだループの方法は有効です。

再生スピードやピッチを変更する

オーディオ・データの再生スピードや、ピッチを調整することができます。



メモ

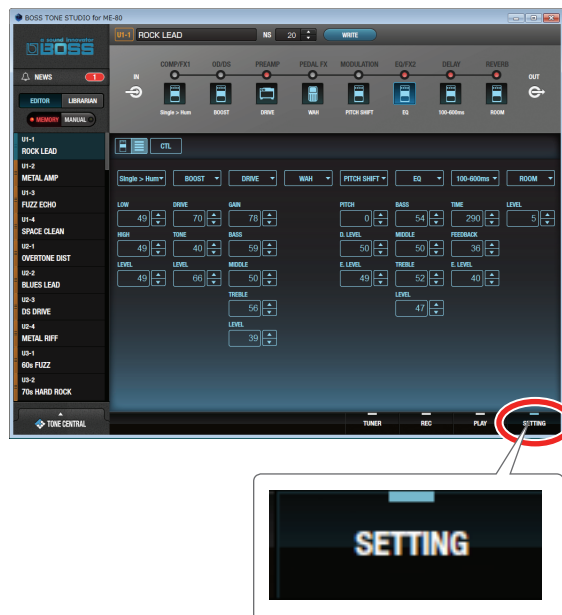
設定は [▼] [▲] ボタンの他、数値をパソコンのキーボードから入力して設定することもできます。

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選ぶ

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選びます。

1. TONE STUDIO 画面の右下にある [SETTING] ボタンをクリックします。

システム設定画面が表示されます。



2. [デバイス設定] をクリックします。

デバイス設定画面が表示されます。

3. 表示されたデバイスの中から [ME-80] をクリックします。

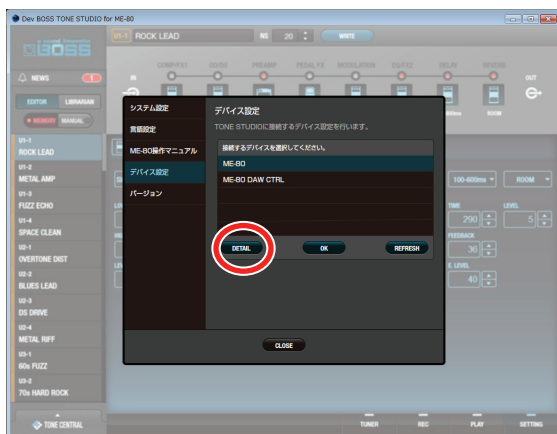


4. [OK] ボタンをクリックします。

デバイスの設定を詳細に設定する

MIDI データやオーディオ信号の入出力先を、詳細に設定することができます。

1. 「TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選ぶ」
(P.17) の手順 1 ～ 3 のあと、[DETAIL] ボタンをクリックします。



CONNECTION 画面が表示されます。

2. MIDI の入出力、オーディオ信号の入出力を設定します。



メモ

MIDI IN と MIDI OUT は、同じ種類を選んでください。違う設定を選ぶと、接続できません。